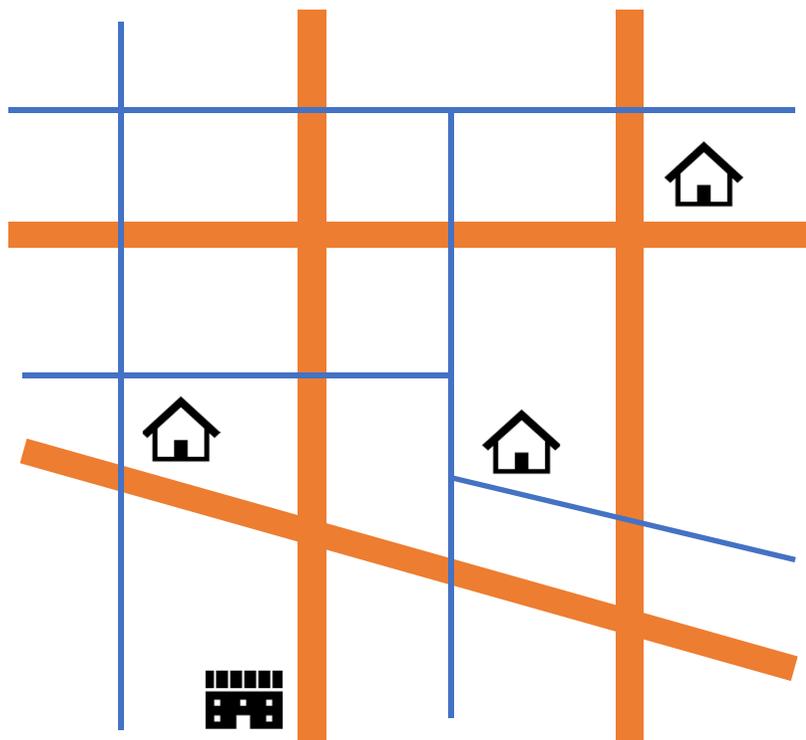


静岡県・下田市包括管理業務委託について

令和5年6月13日

静岡県建設政策課

Before



市と契約したから、
市道のみ管理

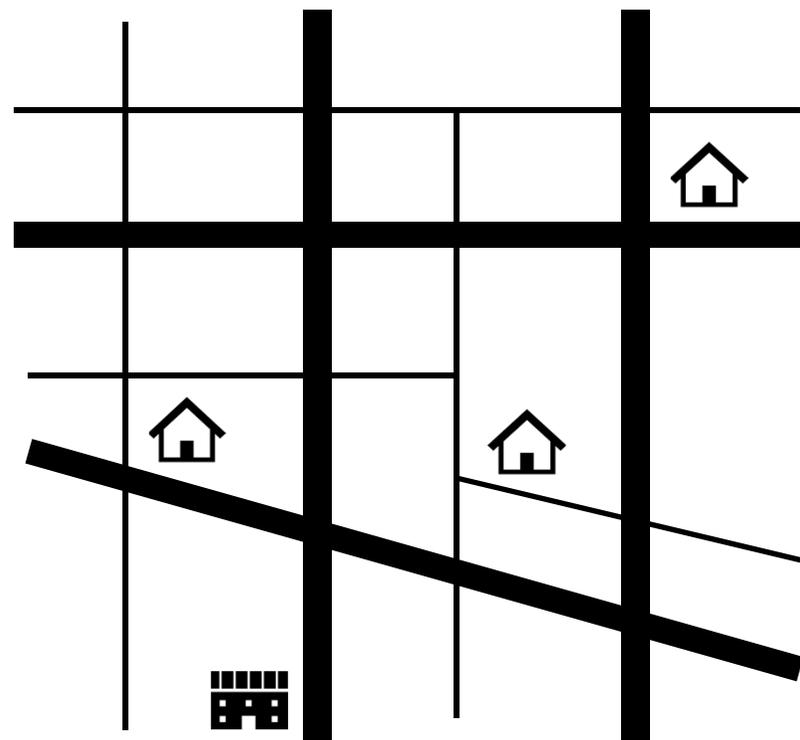


県と契約したから、
県道のみ管理



この道は綺麗だけど、
ちょっと小道に入ると急に舗装が荒れている

After



県道と市道とを一体的に管理する
ことで効率的、計画的に道路の維持
管理を実現。
住民へのサービスも向上

1 概要

インフラの老朽化や人口減少、少子高齢化が進む中、維持管理の課題は費用面だけでなく行政や企業の技術者の減少などにより、インフラの維持管理水準の低下が懸念

県市が一体となり、道路等のインフラを包括的に管理することにより、将来にわたり持続可能な社会の構築を目指し、以下を目標に新たな制度設計を進める。

- ①建設産業の人材確保 ②品質の確保 ③維持管理費増大の抑制等

2 県・市の取組

- ・ 下田市内における県・市管理道路等について、従来から発注又は直営で実施している道路管理業務を対象。
- ・ 関連制度・事例整理、事業スキームの検討、民間事業者との勉強会・意見交換等を実施
→契約方法等にかかる事業スキーム、業務仕様、発注図書等の検討

3 現状・今後の予定

令和3年度

国の先導的官民連携支援事業補助金を活用し、県市協働による検討のもと、委託業務を実施。市発注。

令和4年度

国のインフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入支援事業に県・下田市ケースを応募
⇒国発注（R5も継続予定）

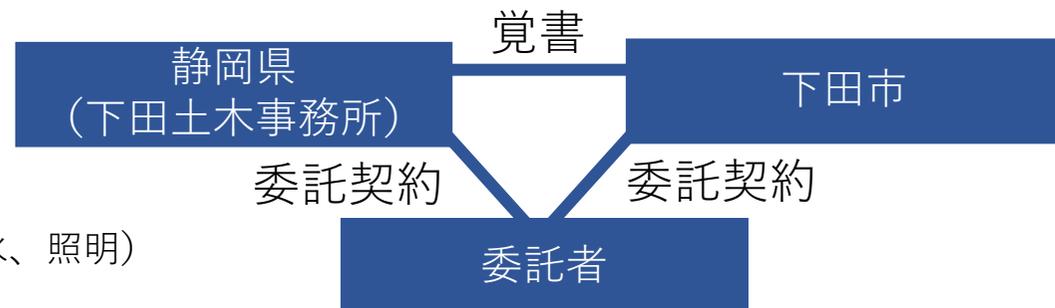
令和5年度

包括管理業務委託を試行予定（R5.10/1～R6.9/30）事業実施者等へのサウンディング調査、検証・分析

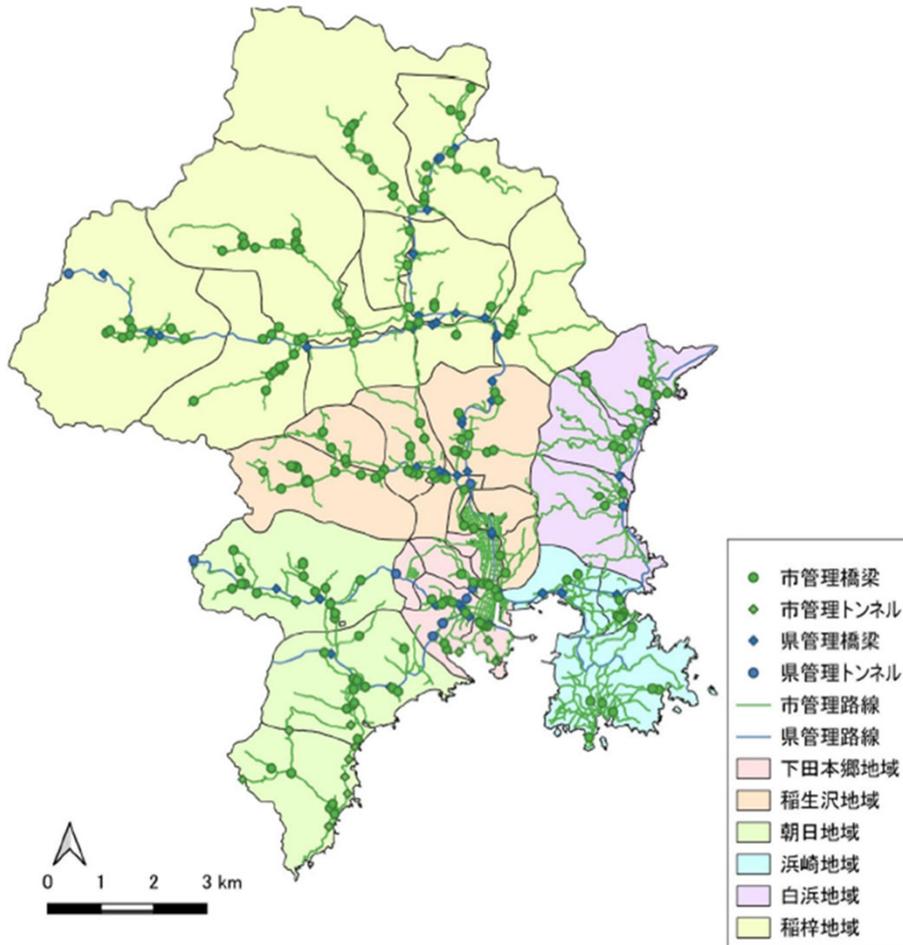
R5年度試行スキーム

ポイント

- ①単年度契約
- ②総価契約
- ③業務包括（舗装修繕、小規模、雪氷、照明）
- ④業務指示は行政から実施（従前）



対象区域：下田市全域

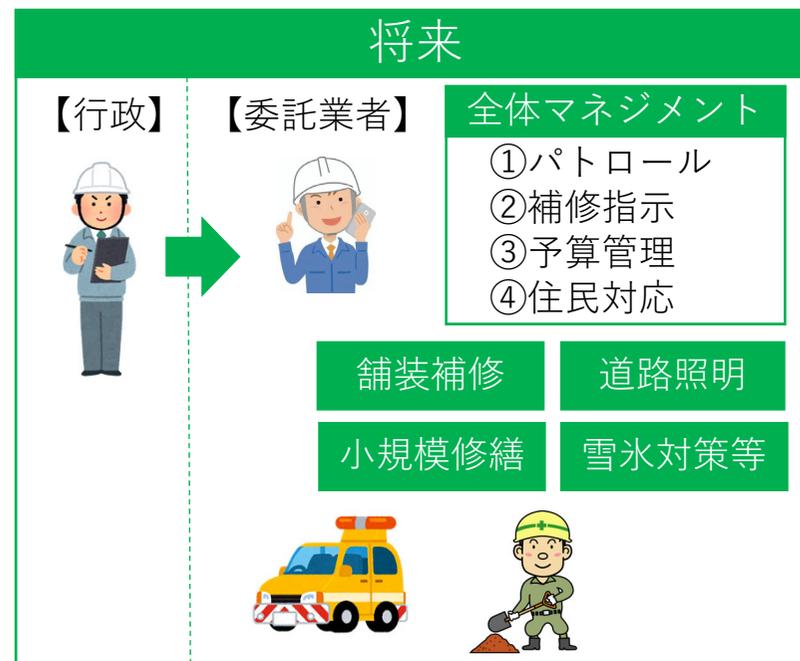
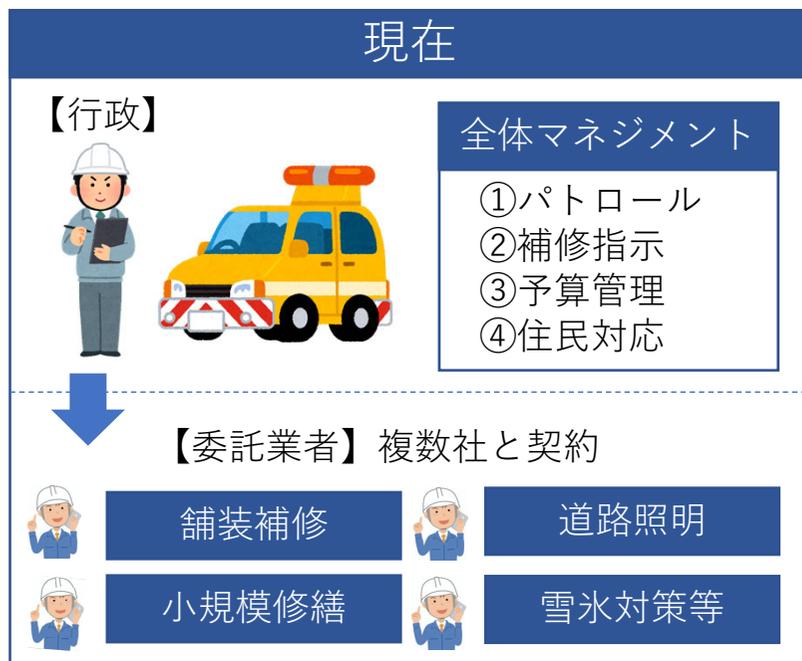


対象施設

管理者	道路種別	数量	計
静岡県	一般国道	26.0km	47.0km
	主要地方道	9.0km	
	一般県道	12.0km	
下田市	一級市道	40.0km	236.0km
	二級市道	32.0km	
	その他の市道	164.0km	
計			283.0km

業務範囲

業務項目	主な業務内容
道路維持業務 (小規模修繕) (舗装補修) (雪氷対策) (道路照明)	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装のポットホール、亀裂、段差の補修 ・排水施設工、交通安全施設工等の維持修繕 ・除雪及び凍結防止剤散布等 ・照明用機材の交換・修繕等 ・臨時パトロール、待機等



--- 事業者ヒアリング ---



1. 全体マネジメントはDX等の新技術や業務の効率化により、コスト軽減を期待したい…。現状の業務費用より増大することが想定されるのか…
2. 下田市域から少しずつ市町域を拡大するための合意形成が重要。
3. 総価契約の場合、従来の業務水準を確保できるか…。
4. 長期の予防保全計画を委託者で実施できるのか。

1. 全体マネジメントは業務量が膨大であるが負担は事業者が担うのか？
2. 単独の市域範囲では予算規模及び業務範囲が小さいのでメリットが少ない…。
3. 単価契約よりも総価契約の方が業務手間が省力化され、賛成！
4. 地元企業では長期の予防保全対策までのノウハウがない…。



行政・事業者の不安 ➡ 不安はあるが、まずは試行を実施することが重要

道路の異常の発見



住民通報



県市パトロール



受注者現場間移動

県・市担当者に通報・連絡

緊急時



県・下田市
【監督員】



指示書



受注者
【主任技術者】

まとめて
効率的に

想定業務量（業務量上回る場合は協議）

業務委託名	過年度実績（履行期間中の想定作業量の参考値）	
	県管理施設	市管理施設
舗装補修	●件 (R2～3年度平均)	●件 (R2～3年度平均)
小規模修繕	●件 (R2～3年度平均)	●件 (R2～3年度平均)
雪氷対策	●件 (R2～3年度平均)	●件 (R2～3年度平均)
道路照明施設維持修繕	●件 (R2～3年度平均)	●件 (R2～3年度平均)

県道



市道



県道



維持補修工事（50万円以下/件）

【モニタリング】

令和5～6年度は県・市・受注者で協力実施
（効率化や業務量について確認）

受注者のメリット・デメリット
発注者のメリット・デメリット
を双方で確認・検証し、包括管理委託の実施
方法について検討・議論する

県・市
受注者

業務報告



定例会議（4回/年）

終了後
引継ぎ

現在

業務	現契約
小規模施設修繕	●●土木
舗装補修	●●工業
道路照明施設維持修繕	●●電気
雪氷対策	●●工務店



【監督員】

作業指示書を交付
(県⇒受託者)

1回/月
報告書の提出
(受託者⇒県)

1年間で4人工

試行

業務	令和5年度
小規模施設修繕 舗装補修・雪氷対策・ 道路照明施設維持修繕	JV等 (A社・B社・C社・D社)



指示

試行

指示情報のDX化

【監督員】

道路異常の情報共有アプリ

- ①内容
- ②位置
- ③緊急度
- ④写真

将来

業務	将来
小規模施設修繕 舗装補修・雪氷対策・ 道路照明施設維持修繕	JV等 (A社・B社・C社・D社)



【受注者】

全体マネジメント

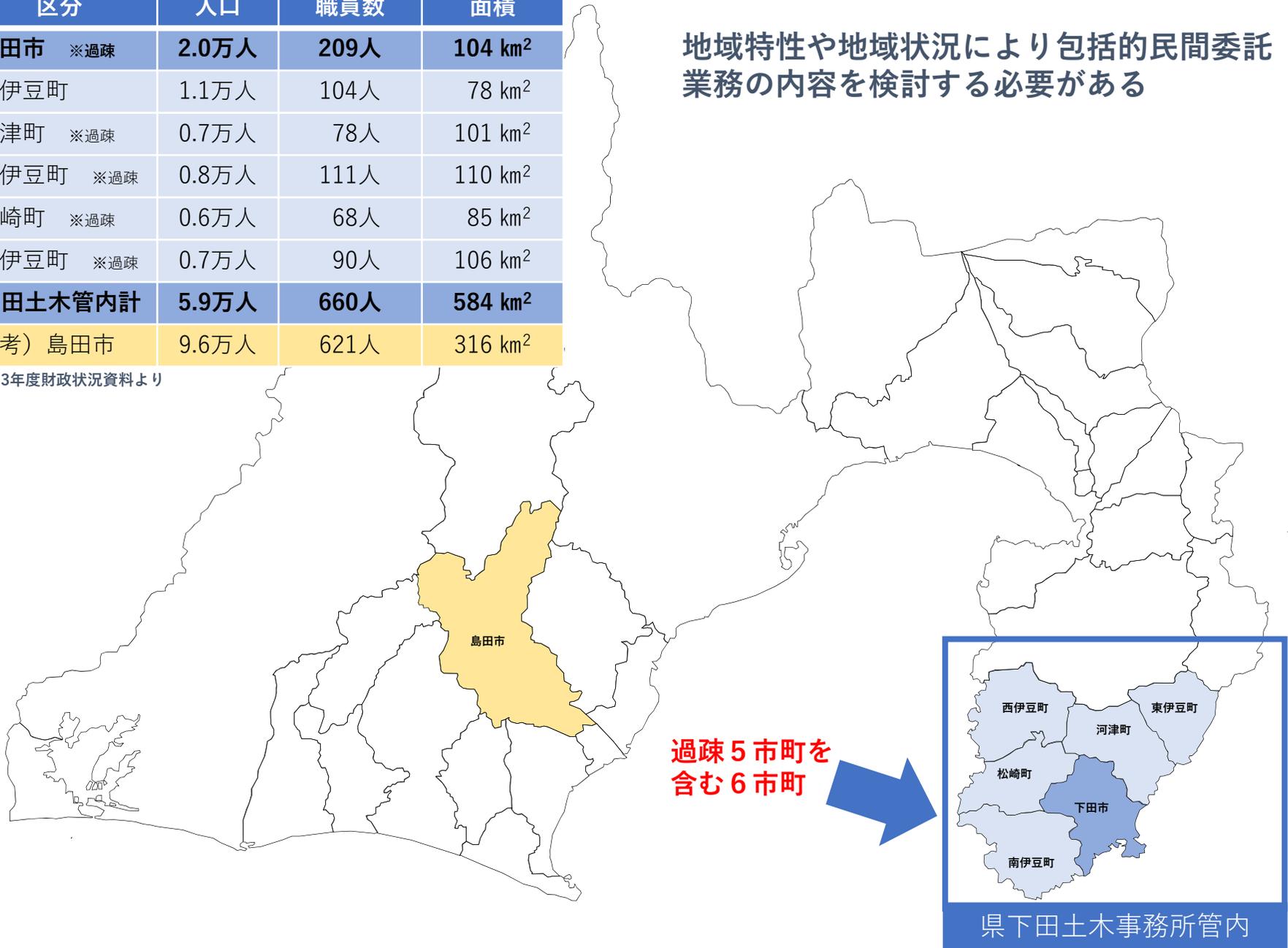
2023



区分	人口	職員数	面積
下田市 ※過疎	2.0万人	209人	104 km ²
東伊豆町	1.1万人	104人	78 km ²
河津町 ※過疎	0.7万人	78人	101 km ²
南伊豆町 ※過疎	0.8万人	111人	110 km ²
松崎町 ※過疎	0.6万人	68人	85 km ²
西伊豆町 ※過疎	0.7万人	90人	106 km ²
下田土木管内計	5.9万人	660人	584 km²
参考) 島田市	9.6万人	621人	316 km ²

令和3年度財政状況資料より

地域特性や地域状況により包括的民間委託業務の内容を検討する必要がある

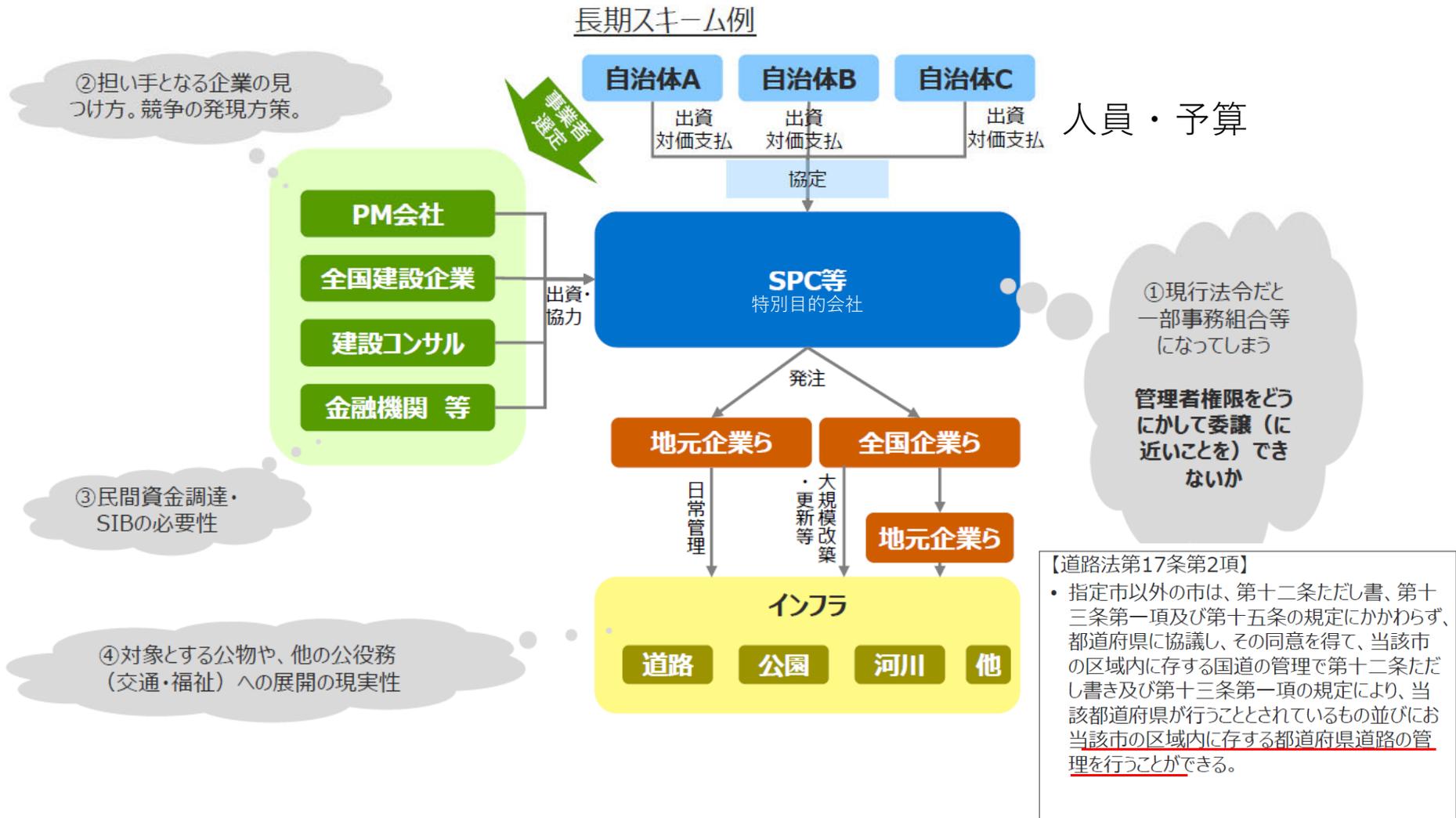


過疎5市町を含む6市町

県下田土木事務所管内

他地域・他領域への展開について（アイデアの議論）

- 本インフラ包括管理の長期的な進め方



※同第3項には町村の管理の特例に係る同内容の記載